



あ し さ と

葦の里

No.20、21

嬉野市立吉田中学校

令和7年12月26日

文責：校長 土岐洋二

教育目標「賢く 優しく たくましい 生徒の育成」～地域とともに9か年の学びの中で～

○冬季休業に入りました

1月7日(水)までの冬季休業に入りました。各学級では、冬休みのしおりを使って休み期間中の生活や学習の在り方について取扱い、24日の全校集会では下記の4つのことを大切にしながら生活し、1月8日(木)に生徒・職員全員が元気に登校しようと話しています。

- ①命を大切に行動をとること
- ②「早寝・早起き・朝ごはん」を心掛けること
- ③家庭学習(受験勉強)に取り組むこと
- ④家族の一員として手伝いをすること

年末年始を含む冬季休業の2週間は、出かける機会も多く、生活のリズムを崩しやすくなります。学級取扱いの中で、生徒たち自身が目標や1日の計画を立てています。お忙しいと思いますが、どのような目標や計画を立てているかを確認いただき、毎日の生活の中でのお声掛けをお願いいたします。

保護者や地域の皆様のご協力とご理解のおかげで、8月25日から一番長い期間の教育活動を無事終えることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

○地域の工芸を学ぶ

2年生美術では、「地域の工芸 ～暮らしに息づく土の造形～」の単元で「焼き物」について学んでいます。地域にお住まいの方を特別非常勤講師に迎え、6時間計画の授業(12月5日、12日、1月9日)で、身近な焼き物の用途や機能性を学んだり、箸置き制作やランプシェードの絵付けをしたりして、地域の伝統工芸である焼き物への理解を高めることを目的としています。

12日の授業では、箸置きのデザインを考え、講師の先生からアドバイスをいただきながら、様々な形の箸置きを作りました。

次回1月9日の授業では、ランプシェードの絵付けにチャレンジします。このランプシェードは、1月24日から2月8日に行われる「うれしのあったかまつり」で展示していただく予定です。

○財政を考える？

3年生公民の授業では、例年、税務署や税理士の方から税のことを学ぶ「租税教室」を実施しています。今年度は、12日(金)に福岡財務支局佐賀財務事務所の方においでいただき、「自分の将来のために、日本の未来を考える」と題した財政教育プログラムの授業をしていただきました。財政や暮らしを支える税金のこと、日本の現状、少子高齢化と社会保障などについてお話しいただき、後半は財務大臣になって国の予算を作るグループワークにチャレンジしました。

「国民からどのように税金を集めて、集めたお金をどのように使えば、日本の未来をよくできるか」をテーマに予算案を作成し、意見交流をして学びを深めました。

佐賀財務事務所の皆様、ありがとうございました。



○2年連続の快挙！

第16回「いっしょに読もう！新聞コンクール」(個人応募6万1428編、団体応募470件)で、応募団体の中から小・中・高校各5校が選出される「優秀学校賞」を2年連続受賞しました。

この「優秀学校賞」とは、新聞に触れる日常的な活動を含め、特に熱心に取り組んだ意欲的な学校や全校レベルでの取り組みなど注目すべき点、特色がある学校に贈られる賞です。今年度取り組んでいる「新聞読みタイム」(生徒が自ら気になる記事を選び、内容を調べたり、感想を書いたり、生徒同士で記事内容や考えを伝え合ったりする活動で、昨年度は「マイ記事タイム」として実施)を評価していただいた受賞だと思います。

今後も、社会への関心や表現力等の向上を目指して、NIE活動を継続して取り組んで参ります。



※写真には、アート加工を施しています。